

クリティカル領域でのCAS(レベルⅡ)

- 【全体像】:
- ・同じ或いは類にした環境で2年以上仕事をしている看護師。
 - ・長期目標や計画を立てて意識的に自分の活動が出来る。
 - ・現在及び予測された状況で何か重要か判断できる。
 - ・一人前の日常業務が出来る。

<ナースングプロセス>

1. アセスメント(一部小項目を割愛)

- 1) 個別的なケア計画を作成するために、データ収集ができる。
- 2) アセスメントデータにより大切なものを察知できる。
- 3) フィジカルアセスメントを使用し情報収集ができる。
 - ①呼吸器系 ②循環器系 ③神経系 ④消化器系 ⑤皮膚・感覚器系
 - ⑥患者の言動や行動または様相
- 4) EBで看護診断を決定し、優先順位を決定できる。
- 5) 急変を予測したアセスメントができる。
 - ①経時的なデータから現在起きていることや今後の予測ができる。
 - ②患者のモニターリングデータの変化をアセスメントできる。

2. 計画(割愛)

クリティカル領域でのCAS(レベルⅡ)

3. 介入(小項目を割愛)

- 1) 個別性に応じて計画をフレキシブルに修正し実践している。
- 2) 常に退院時の教育ニーズを意識し退院後の生活をイメージした指導ができる。
- 3) 院内のルールによってケア介入の記録ができる。
- 4) 急変時の即時的な対処行動がとれる。
- 5) 危機状態にある患者または家族への援助ができる。

4. 評価(割愛)

＜教育力/自己学習能力＞(小項目割愛)

1. 長期的な学習計画を立てて実践している。
2. 新人、学生に指導できる。
3. 自主的に院内外の研修に参加している。
4. 看護ケアに必要な知識を探求する習慣が身についている。
5. 看護実践を内省し自己の向上に努めている。
6. 病棟レベルの看護研究発表会で事例分析などを発表している。
7. 研究された成果を活用している。

クリティカル領域でのCAS(レベルⅡ)

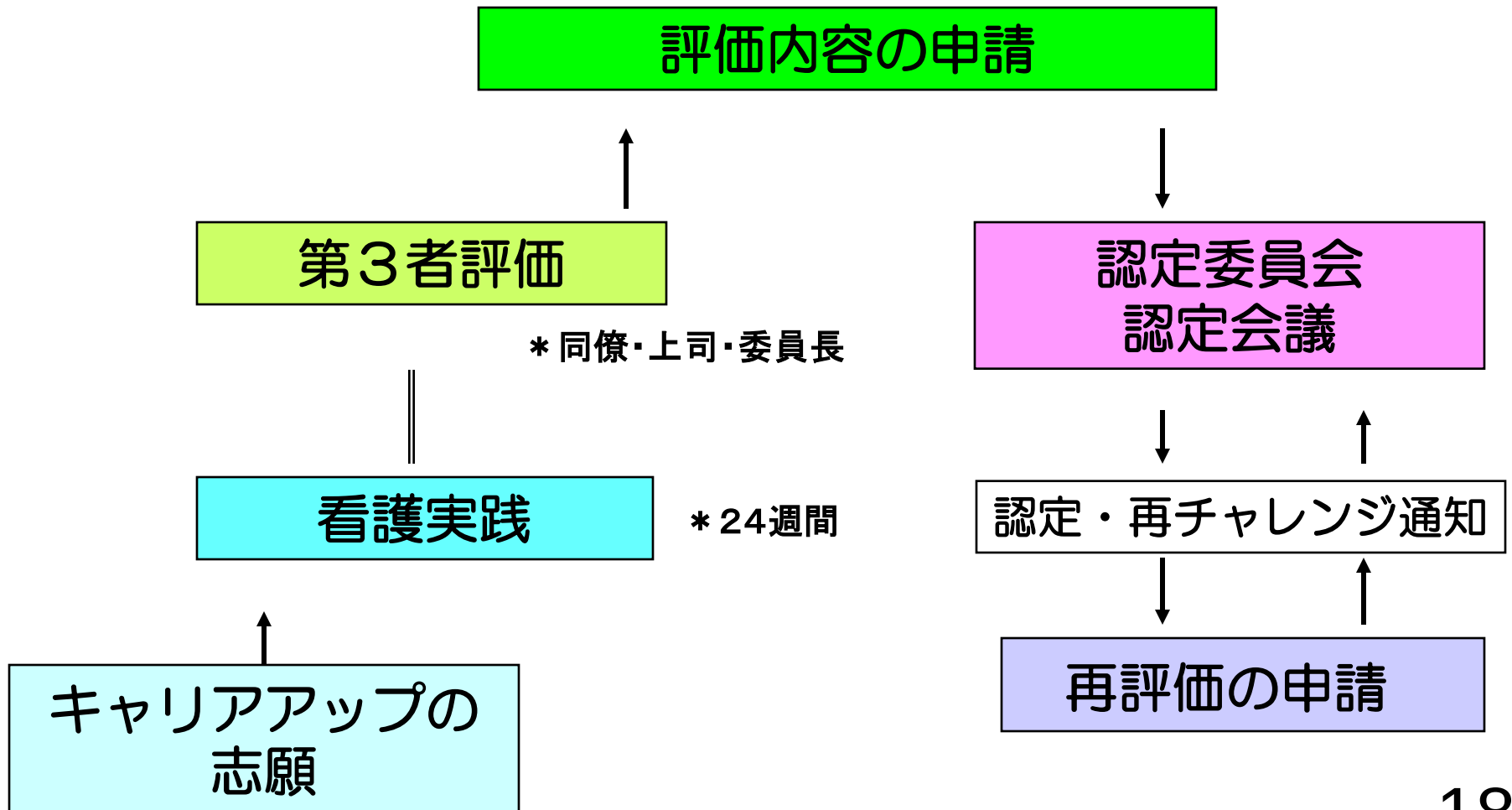
＜リーダーシップ能力＞（小項目割愛）

1. 他のヘルスケアメンバーと効果的なコミュニケーションがとれる。
2. 問題が起きた場合、病院の組織・構造を知り、適切なコミュニケーションがとれる。
3. 組織が起こしている変革を理解し行動できる。
4. 患者及びスタッフに対しケアリングな環境を作る努力をしている。
5. チームリーダとして活躍できる。
6. 委員会の活動を積極的に行っている。
7. 業務の優先順位を考え、調節・遂行ができる。
8. リスクマネジメントの視点で判断できる。
9. 急性期の各患者の治療方針・看護目標を理解している。

＜専門職業人としての自覚/行動＞（小項目割愛）

1. 他の人の批判を受け入れ、自己改善ができる。
2. 亀田の職員として亀田ビジョンにあった行動をしている。

キャリアアドバンスシステム レベル認定までの流れ



* 臨床経験2年以上の者が対象

看護実践能力評価方法について

＜特徴＞

- ①評価項目は看護師の活動領域（ナーシングプロセス・教育能力／自己学習能力・リーダーシップ能力・専門職業人としての自覚／行動）に沿って行う
- ②同僚評価・上司評価・委員長評価など複数の評価者を通して行う
- ③評価内容は点数化する

レベルとスコアの関係

レベル		点数
レベルⅣ	A	
	B	
レベルⅢ	A	85以上
	B	70～84
	C	65～69
	D	60～64
レベルⅡ	A	85以上
	B	75～84
	C	70～74
	D	65～69
	E	60～64
レベルⅠ	F	50～59
	G	～49

看護部門内教育実績(中央での主催)

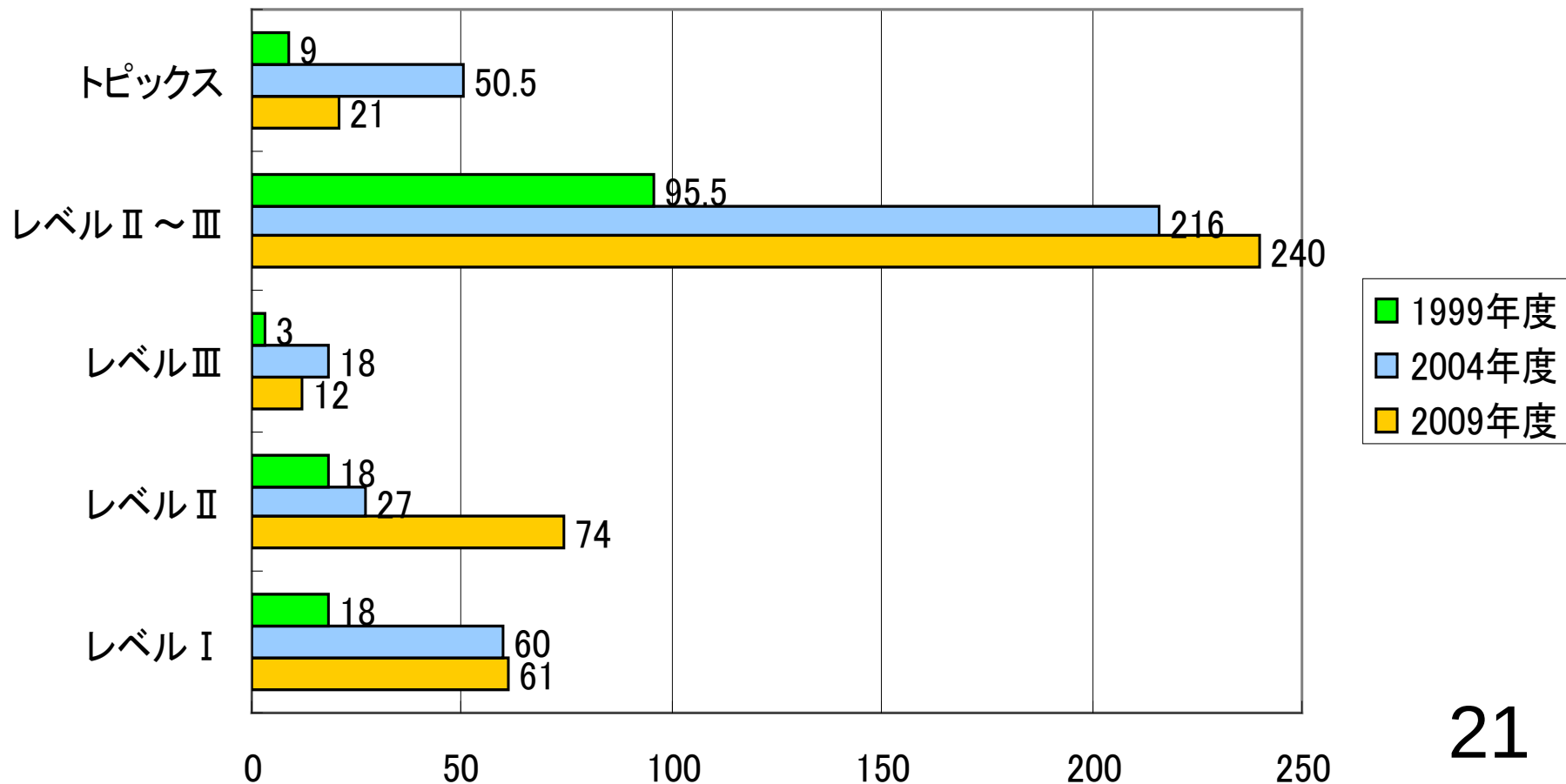
基本は
自主選択

看護実践能力(レベル別)教育総時間

1999年度総時間 143.5時間

2004年度総時間 371.5時間

2009年度総時間 409時間



当施設における救急看護師教育

1

- 救急看護師として、基礎的な知識・技術の習得

2

- トリアージナース教育（看護部認定）
- チームリーダー教育

3

- 院内段階別教育（キャリア・アドバンス・システム）レベルⅡ

当救急看護師教育の実際

入職時

救急医療・看護とは、救急病態、
十二誘導心電図、画像・CTの診かた
フィジカルアセスメント、バイタルサインなど
BLS、ACLS、ISLSなど、各疾患について
危機理論、アサーティブ

1年6ヶ月

感染対策コース、薬学コース
フィジカルアセスメントコースなど

＜トリアージナース育成コース＞

- ・トリアージとは、トリアージにおける待合室管理
- ・接遇について
- ・コミュニケーション

2年

＜チームリーダー研修＞

- ・問題解決
- ・リーダーシップ
- ・机上シミュレーション
- ・模擬患者シミュレーション
- ・OSCE評価
- ・プレテスト
- ・フォロー付き実践

3年

キャリア・アドバンス・システム(CAS)
レベルⅡチャレンジ
(中央での教育)

- ・ポストテスト

【救急看護師教育内容(講座)】 合計時間:219.5時間

内容	時間数	担当
救急医療・救急看護とは	3	看護師
救急病態の理解 ・意識障害、急性呼吸不全、急性循環不全、ショック	6	医師・看護師
BLS・ACLS・PALS・ISLS	32	各インストラクター
外傷看護	6	看護師
フィジカルアセスメント ・呼吸、循環、腹部、神経、運動器	7.5	医師・看護師
バイタルサインについて ・血圧、呼吸、脈、体温、Spo2	9	医師・看護師
血液ガスの診かた	4.5	医師
十二誘導心電図について	4.5	医師・看護師
人工呼吸器	4.5	医師・看護師

内容	時間数	担当
画像の診かた ・胸部、腹部、 ・CT	6	医師
PCPS、IABP	3	医師
疾患 ・脳卒中、ACS、大動脈解離、熱中症、急性薬物中毒、 熱傷、肺炎、ARDSなど	22. 5	医師・看護師
危機介入	1. 5	看護師
アサーティブについて	1. 5	看護師

【看護部門内教育コース】

内容	時間数	担当
フィジカルアセスメントコース	12	看護師
感染対策コース	48	認定看護師
薬学コース	48	薬剤師

【トリアージナーサ育成コース】 合計時間:55.5時間

内容	時間数	担当
トリアージについて ・トリアージとは、トリアージシステム、トリアージ方法、 トリアージ倫理	1.5	看護師
接遇について	1.5	看護師
コミュニケーション	1.5	看護師
症状別トリアージ	1.5	看護師
トリアージに生かすフィジカルアセスメント	1.5	看護師
トリアージにおける待合室管理	1.5	看護師
リーダーシップについて	1.5	看護師
問題解決法	1.5	看護師
机上シミュレーション	1.5	看護師
模擬患者によるシミュレーション	2	看護師
フォロー付き実践	40	看護師

トリアージナース業務について

- Walk inで来院する患者へのトリアージ判定を行い、チームリーダー看護師や医師へ情報提供を行う。
- 循環器内科プロトコルに沿って、該当する患者に対して、十二誘導心電図を施行し、直接循環器内科医師をコールする。
- 診察を待っている患者への再評価と必要な看護介入を行う。

1. Life Support:

生命を脅かす病態にある患者を迅速に見極める



2. Assessment:

現時点の問題の重症度と緊急性を評価決定する



3. Disposition:

評価決定に基づいて適切な加療場所へ誘導する



4. Reassessment and Care:

診察を待っている患者の再評価と必要な看護介入を实践する: